

別記第6号様式

平成27年12月10日

北海道石狩振興局長 様

(コンソーシアム名) 支笏湖環境負荷低減推進コンソーシアム

(報告者) 所在地 千歳市幌美内7番地

名称 丸駒温泉株式会社

代表者職・氏名 代表取締役 佐々木 義朗

平成27年度「一村一エネ」事業に係る補助事業状況報告について

平成27年7月2日付け石商労第860号指令により交付決定を受けた次の補助事業について、「一村一エネ」事業費補助金交付要綱第18条第1項の規定により、別紙のとおり報告します。

(別紙)

## 一村一エネ事業 設備等導入概要

市町村名 千歳市

1 補助事業名 支笏湖環境負荷低減推進事業

2 コンソーシアム名 支笏湖環境負荷低減推進コンソーシアム

3 事業期間 平成27年7月10日 ~ 平成27年9月30日

### 4 事業の目的

本事業は、一村一エネ事業費補助金を効率的に活用すべく支笏湖環境負荷低減推進コンソーシアムを設立し、支笏洞爺国立公園地域の低炭素化による環境負荷低減事業を推進し、地域と連携した取組みを実践することにより、優れた事業成果を達成することを目的とする。

5 補助金の交付額 10,000,000円

### 6 事業の概要

支笏湖を代表する老舗旅館である丸駒温泉旅館は、A重油を用いて暖房給湯ボイラーと自家発電を行っており、平成26年はA重油130,275Lを使用し、温室効果ガス発生量は353tであった。本事業では発電機エンジンの廃熱であるラジエーター温水を、ブレイジングプレート式熱交換器を用いてボイラー貯湯に熱交換し、ボイラー負荷を下げることでA重油使用量を削減する。また、館内照明をLED化することで消費電力量を削減する。

### 7 事業の実施結果及び期待される効果

本事業の設備導入により、A重油の年間使用量と温室効果ガスの発生量はおよそ40%、客室照明の年間消費電力はおよそ50%削減できるものと見込んでいる。また、燃料消費量の削減は硫黄酸化物や煤煙などの大気汚染物質の削減に直結する。更に、設備導入施設の環境負荷低減への取組みを支笏湖温泉旅館組合会議で議題として取上げ、地域経済発展のための方策の一つとして議論を行った。

### 8 今後の展開

本事業の取組みを丸駒温泉旅館と支笏湖温泉旅館組合ホームページで取上げ、環境ツーリズムなどを企画立案し、積極的にPRを行いながら支笏湖地域全体の集客につながる活動を行う。観光客数の増加は支笏湖地域の活性化につながるとともに、湖畔のみならず千歳市全体の一層の経済活性と雇用安定につながる効果が期待できる。

### 9 状況写真

別紙1のとおり